

後発医薬品（ジェネリック医薬品）に関するアンケート結果（速報）

1. 調査の目的

東京都における特性や課題などを明らかにし、後発医薬品を安心して使用できる環境整備に向けた施策を検討するため、アンケートを実施した。

2. 調査期間・調査対象等

(1) 調査期間

令和元年9月14日から10月8日まで

(2) 調査対象

1. 病院	645	全数調査
2. 病院医師	1,290	上記病院に勤務する医師各2名
3. 診療所	2,400	都内約24,600施設から無作為抽出 (抽出内訳) 一般診療所2,160 歯科診療所 240
4. 薬局	2,200	都内約6,600施設から無作為抽出
5. 薬局訪問患者	4,400	上記薬局を訪れた患者各薬局2名 (午前1名、午後1名 それぞれ最初に来局された患者)
6. 保険者	310	区市町村国保・国保組合 (全数調査) 83 東京都後期高齢者医療広域連合 (全数調査) 1 共済組合 (全数調査) 25 協会けんぽ (全数調査) 1 健保組合 (都内約600健保組合から無作為抽出) 200

(3) 調査方法

病院・病院医師・診療所・薬局・保険者：インターネット調査

患者：インターネット調査、紙調査

3. 回答の状況

	対象数	回答数	回答率
1. 病院	645	189	29.3%
2. 病院医師	1,290	261	20.2%
3. 診療所	2,400	409	17.0%
4. 薬局	2,200	868	39.5%
5. 薬局訪問患者	4,400	1,425	32.4%
6. 保険者	310	252	81.3%

4. その他

(1) アンケート結果の集計は、速報値のため、今後変動する可能性がある。

確定版については、年度末に報告書に取りまとめる予定である。

(2) アンケート結果の集計に当たっては、小数点第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100%にならない場合がある。

(3) (n) は当該設問の回答者数（母数）である。

(4) 複数の回答が可能な設問では、構成比の合計が100%を超える場合がある。

(5) 出現件数が「0」の場合は、「-」で表示した。